

## －ご 挨拶－

最近会員の中からウオッセ・マロエラップに関する資料がほしいとのご要望が会に寄せられました。

当会として両島への慰霊訪問は残念ながら実施した事がございません。そこで平成15年に両島を訪問された 間 佐五郎様（神奈川県横浜市）、北原 厚様（埼玉県さいたま市）および平成19年に両島を訪問された北原様の親族の方にまで多大なるご協力を頂きまして、島の貴重な写真・感想文を頂戴いたしました。

当会のHPに公開してもよろしいとの承諾を頂きましたのでここに公開いたします。

特に両島のご遺族にとりましてはこの慰霊訪問記録は少なからず島の様子がおわかり頂けるものと信じてやみません。

尚この慰霊訪問記録のHP公開までご尽力いただいた サザンクロス23の会 代表山村一郎様（愛媛県松山市）には心より厚く御礼申し上げます。

平成25年8月31日  
マーシャル方面遺族会  
会長 黒川 誠

## ウオッセ島への慰霊訪問

10年前になりますが、日本遺族会主催の「平成14年度マーシャル・ギルバート諸島慰霊友好親善訪問団」に参加し、ウオッセ島に慰霊訪問しました。

時期は2003年1月12日～1月19日、参加者は23名、慰霊巡拝地はクエゼリン、ルオット、マロエラップ、ウオッセの4か所でした。父はウオッセ島の第64警備隊でした。訪問団はまずクエゼリン島、ルオット島にて慰霊巡拝をした後マジユロに泊まり、1月16日、マロエラップ環礁タロア島とウオッセ環礁ウオッセ島に飛びましたので、念願の慰霊巡拝をいたしました。

クエゼリンとルオットは米軍が管理していることもあって、きちんと整備されている慰霊碑や鳥居がありましたが、マロエラップの慰霊碑は荒地の中で一部は倒れており、ウオッセには慰霊碑らしきものさえありませんでした。しかし、2つの島は風光明媚な自然に囲まれて、椰子も豊富にあり、住民は明るく親近感の持てる人達でした。機上から見るウオッセ島は勾玉のような形をしており、浜辺に立つと透きとおる青い海と椰子の林に縁どられたサンゴ礁のサラサラした白砂が延々と続く美しい島でした。私達は環礁の内側の静かな浜辺の椰子の葉陰に、白布の慰霊祭壇を設け、持参した郷土産物やお酒等を供え、追悼の詞を語りかけました。傍らで子供たちが見つめていました。島での滞在時間が短かったため、激しい砲撃に遭った外洋側の激戦の跡を見ることはできませんでしたが、草地になっても現役の滑走路、子供の遊び場のプロペラエンジンの残骸、雨を凌げる建物など、僅かながらも当時を偲ぶ遺物に出会うことができました。翌未明、同行の皆様と一緒に南十字星を仰ぎ、慰霊訪問できた感激を分かち合いました。

(2013-8-4 間 佐五郎 記)

ウオッセ環礁ウオッセ島への慰霊訪問 (註) 写真右下の時刻はすべて日本の標準時刻です。(マーシャルでは+3時間)



骨組みの残る軍施設

[写真提供：北原 厚氏 (平成 15 年撮影)]



椰子の葉陰に設えた祭壇(日本からの様々な供物と両国旗)

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影)]



追悼に見入る現地の子供たち

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影)]



追悼式を終えて(2島の訪問者13名)

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影)]



日本軍の防空壕跡か？

[写真提供：北原 厚氏 (平成 15 年撮影)]



小艇発着用のコンクリート栈橋

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影)]



「白砂青蕉」の彼方に水上機滑走台  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



南国のきれいなプルメリア  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



椰子と民家と野の花  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



短い逢瀬を深く胸に刻んで機内へ  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



滑走路の面影を残す草原  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



滑走路脇のエンジン残骸と椰子の実  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]

## マロエラップ環礁タロア島への慰霊訪問

(註) 写真右下の時刻はすべて日本の標準時刻です。(マーシャルでは+3時間)



再会への昂ぶる想いを胸に

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影)]

倒れていた献燈台を起こして祭壇設置

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影)]

交流の場まで滑走路を子供たちと歩く

[写真提供：北原 厚氏 (平成 15 年撮影)]



追悼式を終えて黙祷

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影)]



歓迎のレイを冠しココナツを飲み干す

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影)]



椰子の緑陰で村を挙げての歓待

[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



エンジン残骸も恰好の遊び場に

[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



皆に見送られ、ウオッセに向けて立つ

[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]

空から見る美しい環礁 マジュロからマロエラップ、ウオッセを経由して、マジュロに戻るまでの4つの環礁（アウル環礁を含む）の機上からの眺めです。  
（註）写真右下の時刻はすべて日本の標準時刻です。（マーシャルでは+3時間）



チャーター機でマジュロを出発 [写真提供：北原 厚氏（平成 15 年撮影）]



マジュロ環礁をよぎる・上端がカラリン海峡  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



アウル環礁の造形美を鳥瞰・アウル島付近  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



マロエラップ環礁が見えた・アイリク島付近  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



マロエラップ環礁・サンゴ礁の縁取りが美しい  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



マロエラップ環礁・タロア島上空をよぎって内海へ

[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



タロア島に着陸  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



タロア島にお別れ(2時間余の滞在)

[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



ウオッセ環礁が見えた・南東のエグミディオ島付近

[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



ウオッセ島上空をよぎって外洋から内海へ

[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



ウオツゼ環礁・ウオツゼ島の北西に連なる島々  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



ウオツゼ環礁・ウオツゼ島はすぐ右下に  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



ウオツゼ環礁・サンゴ礁に映る機影  
[写真提供：間 佐五郎氏（平成 15 年撮影）]



ウオツゼ環礁・ウオツゼ島(上方)に着陸  
[写真提供：北原 厚氏（平成 15 年撮影）]



ウオッセ島を離陸(2時間余の滞在)

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影) ]



ウオッセ環礁にお別れし、マジュロへ直帰(1時間)

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影) ]



マジュロ環礁に戻る・カラリン海峡上空から内海へ

[写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影) ]



翌未明にマジュロで眺めた南十字星 [写真提供：間 佐五郎氏 (平成 15 年撮影) ]

ウォッセ島訪問 [写真提供：北原 厚氏の親族 (平成 19 年撮影)]



向こうに見えるのは日本軍の指令棟だと思います

破壊された砲台のようです





上空からみたウオツェ島の一部です

ウオツェ環礁の内海です。向こうは日本軍の作った飛行艇用の栈橋かもしれません



慰霊祭時のものです